

なまこん信州

第80号
Namacon Shinshu
2020.7.31
(令和2年)

URL:<http://www.nr-coop.server-shared.com> E-mail:nr-coop@muse.ocn.ne.jp



目次 contents

第46回通常総会開催される……………	2
令和2年度品質管理監査について……………	3
北から南から……………	3
事務局だより……………	4
編集後記……………	4

発行所
長野県生コンクリート工業組合
〒381-2213
長野市広田48番地神明第1ビル5階
☎026-283-8712
発行責任者 山浦友二
奥山印刷工業株式会社

「災害に強い生コン」

組合員が一致団結して一層アピールを！

工業組合の令和二年度第四十六期通常総会は、五月二十五日(月)長野市内において開催されました。

総会では参加者による綱領斉唱の後、山浦理事長からのあいさつがありました。

冒頭、本来総会は、組合員のコミュニケーションを図る場でもあるが、本年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、多くの組合員には書面による議決をお願いすることとなり、また、例年、総会に華を添えていただく御来賓の招待もなく、各支部の理事と監事のみが出席する総会となったことへの説明がありました。

また、本年度の出荷の見直しは、新型コロナウイルス感染症の影響から民間需要の先行きが不透明であることから、国土交通省や県への要請活動を通じて国土強靱化等の公共事業予算の増額を働きかけるとともに、コンクリート舗装採用促進のほか、昨年大きな被害をもたらした台風19号災害に関連して、災害に強い生コンを関係機関に対し、



組合員が一致団結して一層アピールしていかねばならないと強く訴えかけました。

続いて、山浦理事長が議長となり議案の審議が進められました。

令和元年度事業報告及び同決算が承認され、令和二年度事業計画(案)・同予算(案)・賦課金の額及びその徴収方法(案)・役員報酬の最高限度額(案)についても、原案どおり承認されました。特に、令和二年度の生コン需要見込みは、災害復旧事業等への期待感はあるものの昨年度実績には届かない見込みであることから、新年度の事業計画では、生コンの需要拡大に努め、品質の確保と安定供給に組合員が一丸となって取り組むこと

としました。また、労働災害の防止に向けた講習会等の開催を通じて、未然防止を図るなどの取り組みが承認されました。

引き続き、倉石専務理事の辞任に伴う役員選挙が行われ、新たに宮島一郎候補(長野県生コンクリート工業組合 技術部長)が当選し、理事に就任、総会審議事項のすべてが滞りなく終了しました。休憩をはさみ、別室において役員による理事会が開催され、専務理事に宮島一郎氏が選任されました。宮島専務理事からは、これま

での工業組合技術部長としての経験を活かし、組合の一層の発展に尽くしたいとの抱負が述べられました。

続いて、組合運営などに対し永年ご尽力をいただいた、別記の皆様へ感謝状・表彰状が贈呈されました。

新型コロナウイルス感染症の影響から、最小限の出席者で開催された令和二年度の総会は、異例の形での開催となりましたが、本年度の工業組合事業の実施に向けて、有意義な総会となりました。

感謝状受賞者の紹介

■ 感謝状(工組役員退任者)

工 組 倉 石 清 長野県生コンクリート工業組合

■ 表彰状(多年勤続功労者)

大 北 鷺 澤 汪 小谷生コンクリート工業(株)

大 北 金 森 次 郎 金森建設(株)

佐 久 木 下 信 一 佐久生コン事業協同組合

全生連 受賞者御芳名

■ 優良組合 長水生コンクリート事業協同組合



令和2年度

品質管理監査について

長野県生コンクリート品質管理監査

会議 事務局

令和二年度の第一回品質管理監査会議は、新型コロナウイルスの感染増加の現状を踏まえ、四月二十三日に書面審議により行い、五月十三日に監査会議の承認を得て、本年度の監査計画を原案通り実施することとなりました。工場立入り検査及び査察は五月十八日からすでに開始されていますが、計画では、監査は七〇工場七一プラント、査察は八工場以上の予定としています。本年度は、新型コロナウイルス対策を加えた監査計画としておりますので、各対応策に留意し、スムーズに遂行されますよう、支部及び工場のご協力によるしくお願いいたします。

する意識の向上」としています。具体的な施策については、前年度と同様に四項目としています。指導要望事項の目標値が前年度は大幅に達成できませんでしたので、目標値四〇件以下とするとともに、特に減点及び指導要望として多くを占めた、総括的事項の削減を重点事項としています。それぞれの目標値としては、是正勧告〇件、前年度指摘事項の是正率を九七%以上としています。改善計画の報告については一か月以内に行うこととし、期限厳守としています。

例年、監査実施前に品質管理責任者講習会を実施し、監査方針等を各工場の品質管理責任者から工場スタッフに周知することとしておりましたが、新型コロナウイルス対策として講習会開催を見送り、各支部及び工場においてパワーポイント資料による研修をお願いしました。これについては、大上議長より、実施状況の報告を必須としていましたが、すでに対象者全員の履修報告を受領しております。各団体の監査への立会いについては、五月中はご遠慮願うようお願いをしておりますが、六月からは午前中の実地検査のみの立会いをお願いしております。本年度は、監査の統一性を考慮し、以降

の取組についても同様な対応となりますので、ご理解をお願いいたします。

査察につきましては、前年度と同様に工場選定を議長・副議長が行い、実施当日の八時に通知することとしております。査察あるいは監査においても、不適合の評価を受けた工場の取組については、厳しい内容となっておりますので再度ご確認をお願いいたします。査察実施に当たっては当日工場において、事前に打ち合わせを行うこととしておりますので、十全な対応と、ご協力をお願いいたします。

協組の話 北から南から

新たな挑戦

諏訪生コン協同組合

小口 浩司



全国的に生コンの需要が年々減少してきておりますが、当協組でもピーク時と比較して三分の一に

まで出荷量が減少しております。そのような状況の為、工場の集約化を行う等、経営環境の改善に努めております。

また当協組では諏訪建設事業協同組合と協調関係にありますので、相互で生コンの需要拡大について検討をしている中で、今回諏訪建設会館を建て替える際、駐車場のコンクリート舗装工事に早期交通開放型コンクリート工法（IDAY PAVE）にて施工したいとの提案が有り、六月一日晴天のもと滞りなく作業は進み、無事終了致しました。諏訪地方では初という事で、大々的にアピールをしたかったのですが、新型コロナウイルスの影響も有り、報道関係者のみの招待となりました。

ダーウィンの言葉にも「最も強い者が生き残るのではなく、唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である」との言葉があります。今回の実績は小さな一歩かもしれませんが、新たなことに挑戦し生コンの可能性を求めて時代と共に変化して需要拡大していければと思います。

最後になりましたが、新型コロナウイルスの終息も不明で不安な時ですが、ウイルスに負けず、みなさん頑張ってくださいませう！

事務局
だより

活動報告・予定

自：令和2年4月
至：令和2年8月

令和2年度

4月17日

第一回正副理事長会議

第一回理事会（書面審議）

会計監査

5月13日

第一回監査員会議・監査員研修会

第一回品質管理監査会議

（書面審議）

5月25日

第二回正副理事長会議

第二回理事会

工組・協組連通常総会

第三回理事会

7月10日

第三回正副理事長会議

第四回理事会

7月21日

第一回労働安全衛生委員会会議

研修会 大宝労働安全研究所

「災害事例にみる生コン業界

の災害防止対策」

7月30日

国・県関係機関への要請

7月31日

第二回監査員会議

第一回技術委員会

セメント技術専門委員会との懇談会

8月5日

第二回品質管理監査会議



自己紹介

令和二年四月一日付けで、工業組合技術部長を拝命いたしました。岐阜県出身、佐久市在住の川崎康弘と申しますが、知っている方もいるとは思いますが、二月末までは群馬県が生コン工場の品質管理責任者として働いていました。

長野県の監査といえは「宮島さん」というのが私の印象ですが、その宮島イズムを継承しつつ、川崎の色もプラスできればと思っております。まだまだ頼りない存在ではあります。皆様からのご指導、ご協力を頂きながら、長野県が生コン業界に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

編集後記

日本のツイッターでは「半分終わり」がトレンド入りだそう。そう、このなまこん信州八〇号が発刊された頃にはちょうど二〇二〇年は折り返し地点を迎えることとなります。

上半期を振り返れば、重要なニュースは数多くありましたが、新型コロナウイルスが世の話題をほぼ独占してきたことは否めません。

「新型コロナウイルス」という単語がニュースに登場したのは一月九日。中国・武漢市で発生していた、正体不明の肺炎

について、中国政府が「新型コロナウイルスが検出された」と発表しました。当時は「SARSではないか」という推測もありましたが、この時点では否定されませんでした。ただ、ヒトからヒトへの感染はまだ確認されておらず、世界中に広がることを予見できた人は少なかったのではないのでしょうか。

一月二十八日、日本人初の感

染者が出たと発表されました。武漢市からのツアー客を乗せたバスの運転手（六〇代男性）。

そして二月にはクルーズ船の集団感染、三月は国民的スターだった志村けんさんが死去。日本中が悲しみに包まれました。

四月は政府の緊急事態宣言が出され、宣言が全国で解除されるのは五月二十五日となりました。オリンピック延期や甲子園中止さらには「ステイホーム」や「テレワーク」等聞きなれない言葉が飛び交う中で、今後私たちの「新しい生活様式」はどうなるのでしょうか。

生コン業界も地域によっては大変厳しい状況が続きますが、各組合員・支部（協組）と工業組合との連携を一層強化し、生コン業界の動向や品質監査・技術等に関する情報を積極的に「メール情報」等を活用して、発信して参りますので、よろしくお願いたします。

（表紙写真提供

西山生コン株式会社 松本新一氏